



# CSR報告書 2008 DIGEST

Corporate  
Social  
Responsibility  
Report

ダイジェスト版



## 「良い会社で、強い会社」に。

NEXCO中日本は、高速道路ネットワークを通じて、各地域を広域的に結び、地域間の連携と交流を促進しています。高速道路ネットワークは、日本の産業・経済・社会といった様々な分野において大きな活力を創出し、国の発展に大きく貢献します。

また高速道路事業は、地域を単に点と線で結ぶのではなく、高速道路を含めた周辺景観もリデザインして、新たな国土形成の一翼も担っています。

今後も民営化の効果を十分に発揮し、グループ全体が一体となって、「お客様第一主義」のもと様々なことにチャレンジし、事業を通じてCSR（企業の社会的責任）を果たしていく所存です。

私たちのめざす企業像は、「良い会社で強い会社」です。お客様や地域社会など、会社を支えてくださる数多くのステークホルダーに対し、本業を土台にCSRを進んで果たす会社です。

NEXCO中日本グループでは、昨年初めて策定・公表しました「環境報告書」を、今年から「CSR報告書」として拡大・発展させることとしました。これは従来の環境への取り組みを核としつつ、私たちの事業を通じて、各ステークホルダーに対し、いかにCSRを果たすかについて、方針と実績を報告するものです。

私たちが「良い会社」を目指し、日々取り組んでいる状況をご覧いただき、忌憚ないご意見を頂戴できれば幸いです。



代表取締役会長CEO

穴野 弘典



## NEXCO中日本 経営理念

### ●私たちの役割

私たちは、常に変革と向上を求め、安全・安心・快適で、時代をリードする高速道路空間を創出し、地域社会の発展と暮らしの向上、更に広く日本経済全体の活性化に貢献します。

### ●私たちのめざす企業像

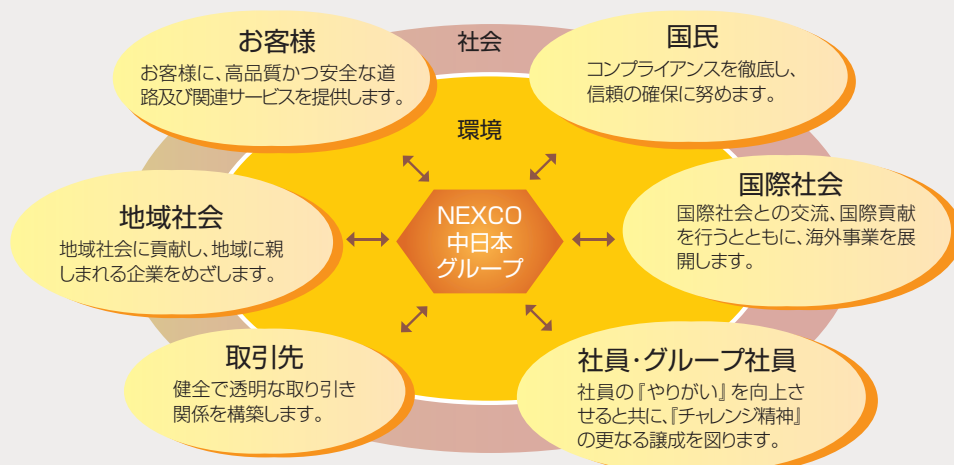
良い会社で強い会社

### ●私たちの基本姿勢

- 1 お客様を第一にする
- 2 衆知を集める
- 3 現場に立って考え行動する
- 4 変革を続ける
- 5 約束を守る

## CSRの基本方針

NEXCO中日本グループの事業を通じて、お客様、国民の皆様、地域社会、取引先、グループ会社も含めた社員など、ステークホルダーに対し、CSRを果たします。







# 線から、 面へ。

2008年2月、新名神高速道路が開通。

NEXCO中日本の高速道路ネットワークは、さらに広がりました。

これからも、地域を高速道路という線で結ぶだけでなく、  
高速道路も含めた周辺環境も一緒にリデザインしていきたい。

「線から、面へ。」

高速道路を通じて地域の活性化にも貢献できる、  
CSRを果たす企業をめざします。

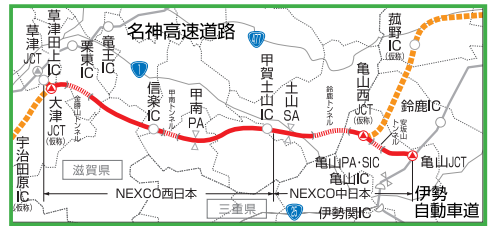


# ますます広がる、NEXCO中日本の高速道路ネットワーク。

## ■ 新名神高速道路 亀山JCT～草津田上IC (49.7 km) 2008年2月23日 (土) 開通



新名神 池山高架橋上からの車窓 (下り線)



## ■ 首都圏中央連絡自動車道 (圏央道) あきる野IC～八王子JCT (9.6 km) 2007年6月23日 (土) 開通



圏央道 八王子JCT



### 環境への配慮

#### 新名神



盛土のり面の樹林化

#### 圏央道



周辺色彩に配慮した柵

# 地球温暖化抑制

高速道路ネットワークの整備やETCの普及促進に努め、都市圏の渋滞解消や物流の円滑化により、地球温暖化の抑制に貢献します。

## 事業活動におけるCO<sub>2</sub>抑制量

	高速道路走行 ①	一般道路走行 ② ※1	CO <sub>2</sub> 抑制量 ②-①
2007年度	7,986	9,458	1,472
2012年度	8,226	9,741	1,515

※1 一般道走行時の渋滞増などによるCO<sub>2</sub>排出分は加味していない。

路線	主な要因	CO <sub>2</sub> 抑制量
新名神	名神・一般道の渋滞の緩和	200
伊勢湾岸道	一般道の渋滞の緩和	560
東海環状道	一般道の渋滞の緩和	16

	対策実施 ③	対策実施せず ④	CO <sub>2</sub> 抑制量 ④-③	
交通集中箇所の渋滞対策	小仏トンネル付加車線 ※6	0.43	0.45	0.02
	東海北陸道4車線化	1.0	1.4	0.4
ETCの普及・利用促進 (料金所渋滞の減少)	(2007年度) 55.5	(2000年度) 101.8	46.3	
TDMIによる渋滞対策	5.2	5.5	0.3	
本線料金所の廃止 ※7	1.5	1.7	0.2	

※6 1~3月の3ヶ月分の数値を計上  
※7 6~3月の10ヶ月分の数値を計上

	2007年度 ⑤	2006年度 ⑥	CO <sub>2</sub> 増加量 ⑤-⑥
交通集中渋滞 ※2	19.0	17.6	1.4
工事渋滞 ※2	5.8	5.6	0.2
事故渋滞 ※2	7.7	7.5	0.2

※2 渋滞時速度を25km/hと仮定して算出。  
2007年度は東名高速道路の交通量自然増加、東名阪道均一区間の昼夜連続規制などにより渋滞が増加しています。

	CO <sub>2</sub> 抑制量
盛土のり面樹林化の実施	13
維持作業用車両へのBDFの使用	0.018
高効率照明灯具の採用	0.101
ヒートポンプ方式の融雪装置の採用 ※3	0.02
トンネル換気運転制御改善 ※4	3
効率的な土運搬	2.8
自然エネルギーの採用 ※5	0.008

※3 東海北陸道白川郷ICでの実績。  
※4 中央道恵那山トンネルの実績値での2001年度との比較。  
※5 東名定橋SA、中央道談合坂SA、新名神土山SAでの実績  
(新名神は2月23日開通のため1ヶ月分のみを計上。)

## ETCの普及・利用促進



## 高速道路のり面の樹林化





# 資源の3R

循環型社会形成のため、資源の3R推進に努め環境負荷を低減します。

## 植物発生材のリサイクル

高速道路内で繁茂しすぎた樹木や雑草は、適切に剪定・草刈りを行い、リサイクルプラントにて堆肥化やチップ化。のり面の樹林化用資材として再利用し、廃棄物の削減に取り組んでいます。



高速道路のり面の草刈りなど



完成した堆肥

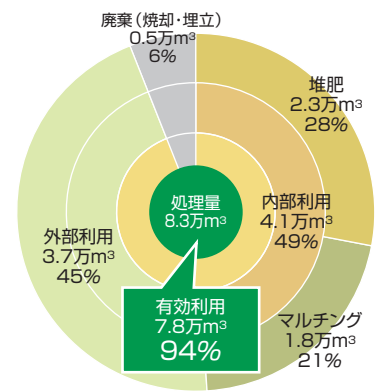


堆肥の製造



チップ敷均による雑草防止(マルチング)

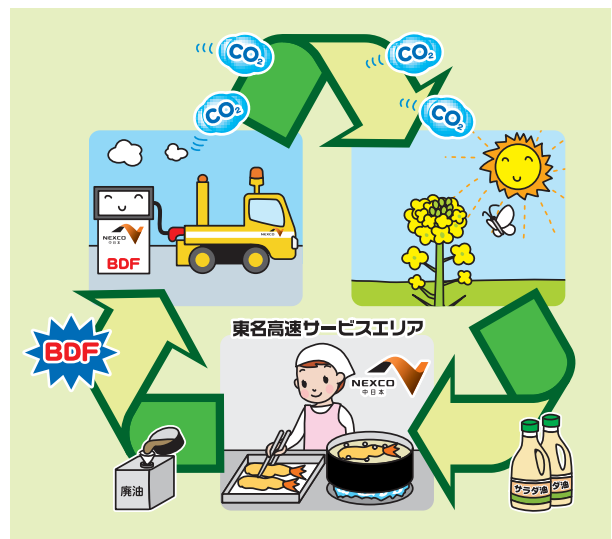
緑のリサイクル量(2007年度)



## 廃食用油を維持管理車両の燃料に

富士保全・サービスセンターでは、管内のサービスエリア等の営業施設で発生する廃食用油をBDF (Bio Diesel Fuel: バイオディーゼル燃料) 化し、2006年12月から情報提供を行う標識車(2台)の燃料に活用しています。

2007年の一年間で約6200リットルのBDF燃料を使用。同量の軽油の使用が抑制されたと想定すると、約17.8トンのCO<sub>2</sub>排出が抑えられたこととなります。



## 地域環境・景観配慮

地域の動植物の生息・生育環境への影響を極力減らすエコロード（自然環境に配慮した道づくり）を推進します。

### 地域の自生種による再緑化

外来生物法施行に先駆け、1996年より、地域性苗木による道路のり面の緑化を継続し、自然生態系の保全に努めています。建設現場などに自生する樹木の種子をあらかじめ採取し、苗木を育成後、現場に植栽。2007年度には、約4.4万本の地域性苗木の植栽を行いました。



種子の採取



緑化技術センターでの育成



苗木の植栽

### 世界遺産「白川郷合掌集落」への景観配慮

世界文化遺産「白川郷合掌造り集落」のある東海北陸道白川郷IC付近では、集落からの景観に違和感を与えないよう、高速道路を視界から『減らす』『隠す』『馴染ませる』対策を行っています。



近景



遠景

### 技術開発の推進

（株）高速道路総合技術研究所の活用、民間会社・大学などとの共同研究により、新しい技術・工法・材料を開発しています。

#### 新技術！ランプ清掃が時速50kmで可能に

（株）高速道路総合技術研究所と共同で、時速50kmでもトンネル照明灯具の清掃ができる装置を開発。これにより、清掃のための車線規制の必要がなく、円滑な交通の確保を目指します。





# お客様へ

みなさまの声にお応えして、施設や体制を改善。安全への取り組みにも力を注いでいます。

## お客様の声にお応えした改善例

サービスエリアを分煙してほしい!!



サービスエリアの歩道部などを禁煙とし、喫煙コーナーを整備しました。2007年度は137エリアで屋外でも分煙化を実施しています。



サービスエリアにETC利用証明書を打ち出せるプリンターを設置してほしい!!



ETC利用証明書を打ち出すことができるプリンターを2007年8月より順次設置し、現在38箇所でご利用いただけます。

HPにETC時間帯割引条件100km以内がどこかわかるシステムを作ってほしい!!



入口のICをクリックすると100km以内のICが表示される『ETC時間帯割引検索マップ』を開設しました。

## 交通安全の支援

### ●安全・快適なドライブのための「気をつけガイド」や「交通安全セミナー」

高速道路を利用する際の「要注意箇所」、安全走行のアドバイス、各種安全対策をご紹介したパンフレット(通年・冬季版)を作成しました。

また、高速道路上での交通事故の発生状況や交通安全のポイント等の情報を社員がお客様に直接お伝えする「交通安全セミナー」を開催し、お客様の高速道路上の交通安全の学習をサポートしています。



## お客様サービスの向上



おもてなしの心「エリア・コンシェルジュ」



NEXCO日本オリジナル「速弁(はやべん)」ドライブが楽しくなる周遊プラン



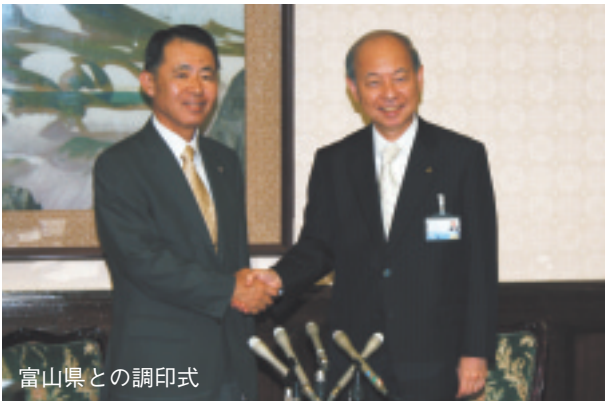
## 地域へ

地域とともに、地域のために。  
地域の活性化に貢献していきます。

### 産業・観光の発展

#### ●包括協定等による地域活性化

関係自治体と包括的提携協定を締結し、高速道路を活用した地域産業・観光の振興、文化の交流等における提携、災害発生時の協力体制を強化しています。



### 施設の地域開放

#### ●現場見学会の開催

高速道路を利用する方だけでなく、沿線住民の皆さまにも建設現場見学会を開催。休憩施設をご活用いただくなどの取り組みも積極的に行っています。



### 地域との協働

#### ●ハイウェイ緑の里プロジェクト

高速道路ののり面を、花壇の整備や植樹のために地域へ開放する「ハイウェイ緑の里プロジェクト」を展開。2007年度は、5箇所で開催しました。



### 産直野菜の「やさい村」

サービスエリア周辺地域の生産者の方々と連携して、新鮮な産直野菜などをサービスエリア内で直接販売する「やさい村」を開設しています。

現在までに8箇所で開催しています。





# 世界へ

培ってきた技術とノウハウを世界へ。  
国際貢献・交流を積極的に推進しています。

## 諸外国との交流

2007年11月、ベトナム道路公社と、技術情報の交換および研究等の人事交流等に関する覚書を締結しました。これにより、ベトナムの道路整備への技術的協力を実施していきます。



## 国際会議への参加

様々な国際会議に出席し、当社の技術やノウハウを提供。国際貢献を行うとともに、多くの国の機関との関係を強固なものにしていきます。

[参加会議]  
・IBTTA年次総会・PIARC世界道路会議・ITS世界会議 など



## 諸外国からの視察受け入れ

諸外国からの視察を積極的に受け入れています。2007年は、韓国やマレーシアなどから、合計150名以上の視察を受け入れました。



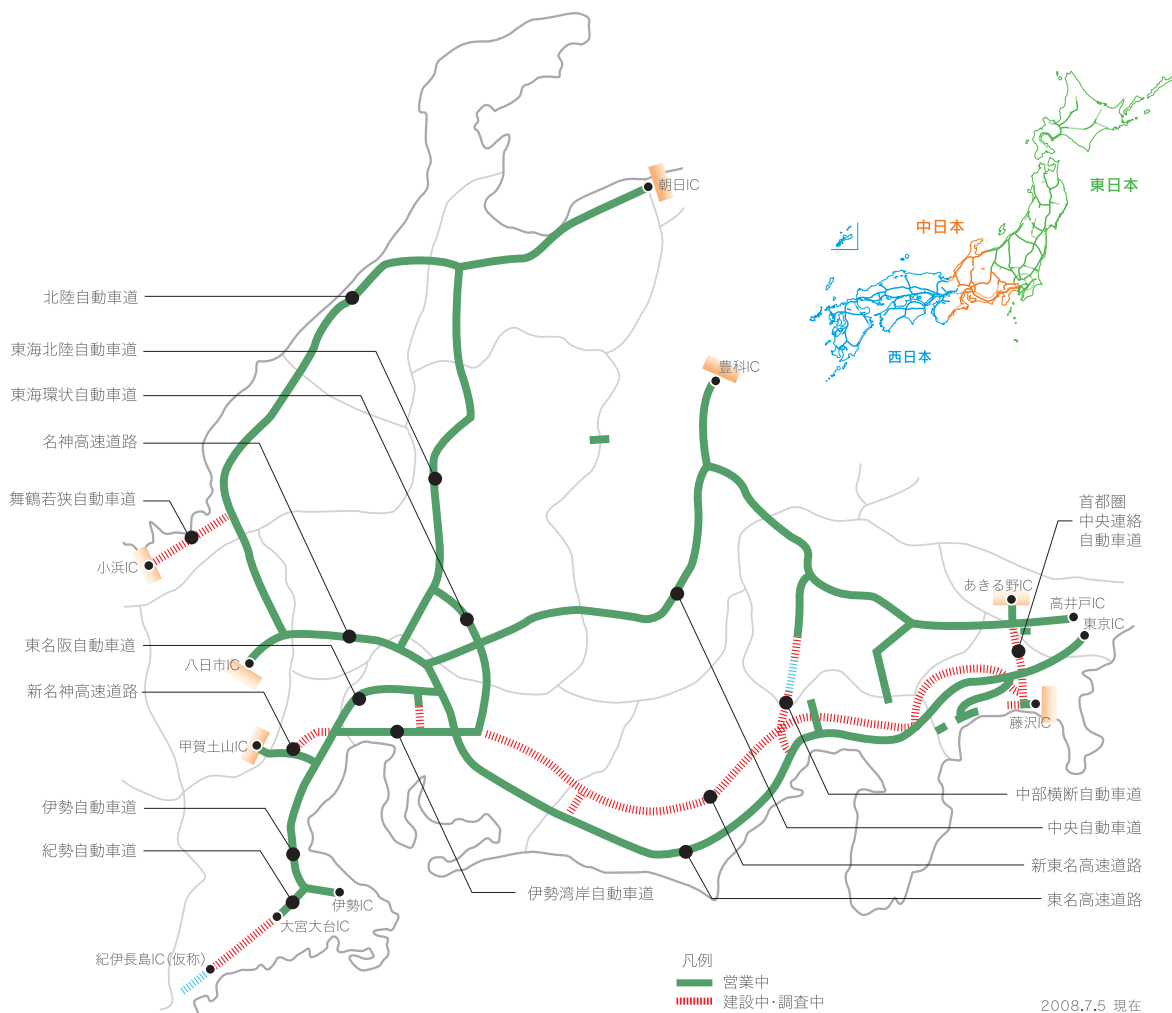
## CSRの懇談会

環境に関する事項をはじめ、企業が社会や文化の発展に果たすべき役割・意義などについて、当社経営陣との間で、大局的な観点から意見交換をさせていただくことを目的とした「CSR懇談会」を設置しています。

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 座長 奥野 信宏 | 中京大学 総合政策学部長             |
| 委員 青山 佳世 | フリーアナウンサー                |
| 亀山 章     | 東京農工大学 農学部 地域生態システム学科 教授 |
| 川勝 平太    | 静岡文化芸術大学 学長              |
| 城戸 真亜子   | 洋画家                      |
| 柴田 昌治    | 日本ガイシ株式会社 代表取締役会長        |
| 嶋津 八生    | NHK解説委員                  |
| 服部 力     | 建築家 (株式会社服部都市建築設計事務所主宰)  |

※敬称略 五十音順





事業データ

営業延長[km]		1,746	2008.7.5現在
利用台数[万台/日]		169	2007年度実績
営業収入[億円]		6,043	2007年度PLベース
建設延長[km]		430	2008.7.5現在
休憩施設	施設数[箇所]	166	2008.7.5現在
	店舗売上高[億円]	1,400	2007年度実績

注: 休憩施設 (この他に会社が敷地を保有しないサービスエリア15カ所(上下別)有り)

さらに詳しい内容につきましては、NEXCO中日本ホームページ内の「企業・IR・採用情報\_CSR報告書」をご参照下さい。

「NEXCO中日本」はチーム・マイナス6%に参加しています。

みんなて止めよう温暖化  
チーム・マイナス6%

認定番号 K0301090 A-11-060001

本報告書は、間伐材を含む用紙を使用しています。印刷インクは、石油系溶剤の使用ゼロ、VOC（揮発性有機化合物）発生ゼロのインクを使用しています。印刷には、インク転写時に廃液が発生しない、水なし印刷方式を採用しています。



中日本高速道路株式会社

名古屋市中区錦2-18-19 三井住友銀行名古屋ビル 〒460-0003  
http://www.c-nexco.co.jp

お問い合わせ先：経営企画チーム 052-222-1620（代表）